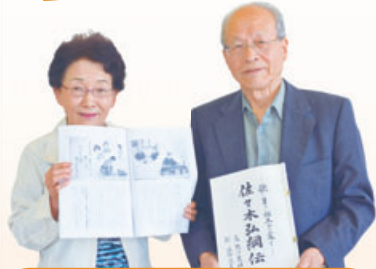


# 元気なひと なかま



紙芝居 佐々木弘綱伝  
一歌に生き郷土を愛す

渡部明美さん (絵) 北川英昭さん (文)

今年5月9日に「佐々木弘綱紙芝居」の完成披露公演が、佐佐木信綱顕彰会の皆さんによって石薬師小学校で行われました。今回は、紙芝居の文と絵を担当されたお二人に登場いただきました。

## ☺北川英昭さん(文)

ヒントは連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」から得ました。紙芝居なら多くの人に弘綱のことを知ってもらえると考えたのです。

信綱の父・弘綱は、江戸から明治にかけて全国的に活躍した歌人であり国学者です。「石薬師のお師匠さま」と慕われたその存在を、私たちは祖母や両親から聞いて育っています。ところが、現在では地元でも弘綱を知る人が少なくなっています。今こそ私たちが次の世代に伝えていかななくてはという思いで執筆しました。

## ☺渡部明美さん(絵)

絵の制作にあたっては、着物や建物、筆跡や小道具に至るまで、かぎりなく本物に似せて描くよう心がけました。時代考証のための資料調べが大変で、全40枚を完成させるのに一年半を要しました。多くの方の助言のおかげで満足のいく仕上がりになりました。

北川さんも私も石薬師小学校の卒業生です。母校の後輩たちに披露公演ができたのは、本当に素敵なことでした。今後はさまざまな場所で、多くの方に見ていただきたいですね。



問合せ 佐佐木信綱顕彰会 ☎374-3140

# 闘え! モータースポーツの鈴鹿人

鈴鹿市内の携帯電話ショップで携帯電話を販売する柔らかな物腰の男性。実はこの方、世界で46人、日本では20人しかいない「鈴鹿8時間耐久ロードレース」の優勝ライダーです。2006年の鈴鹿8耐で伊藤真一選手とペアを組み、地元チームTSRで8耐を制した辻村猛選手は現在38歳(松阪市在住)。一度はレースを引退し、サラリーマンとして第二の人生を歩んでいますが、今年の鈴鹿8耐にライダーとして復帰します。

きっかけはかつて下積み時代を共にしたことがあるレース仲間との再会。「彼はまだ走るべきだ、

そう感じた仲間が支援する有力チームからの出場が決まりました。サラリーマンとして働き一家を支えながらも、二度目の8耐優勝に向け厳しいトレーニングを自分に課し、夏を迎えます。

辻村選手は既に二児の父。子どもたちはこの夏、お父さんのカッコいい姿を目撃することになるでしょう。



辻村猛選手(レーシングライダー/鈴鹿8耐参戦)

## ■語り手 辻野 ヒロシ

鈴鹿サーキット実況アナウンサー・鈴鹿モータースポーツ友の会副理事長

## 広報すずか 2012年7月5日号

### キーボード

昨年8月5日号キーボードで、弓道を始めたことを書きました。その続きです。

先月初めの審査で、初段に合格しました。2回目の挑戦での合格は出来過ぎといってよいでしょう。

審査では2本の矢を射ますが、大失敗の1本目の後、気を取り直して臨んだ2本目は、するすると的に向かって飛んでいき、スパンと小気味よい音を立てました。的に当たったときは、何とも言えない良い気分です。

しかしながら弓道の奥深いのは、単純に矢が的に当たれば良いというわけではなく、形の美しさや品を重んじるところです。

「力を入れずに弓を引き分ける」とか「矢は離すのではなくて自然と離れるのを待つ」などの教えについても、「言うは易く行うは難し」で、なかなか思うように動いてくれない自分の体と格闘が続いています。(保)



鈴鹿市携帯サイト  
「元気モバイル」

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100 (代表) ↑ <http://www.city.suzuka.lg.jp/>  
 ■編集/企画財務部秘書広報課 ☎059-382-9036 ☎059-382-9040 ✉ [hishokoho@city.suzuka.lg.jp](mailto:hishokoho@city.suzuka.lg.jp)  
 ■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 第2八野ワークセンター印刷係  
 ☎059-375-4381 ☎059-340-8810



古紙配合率100%再生紙を使用しています。この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。